

ECALGA

(2) JEITA環境辞書と

JAMP_AISの関係

2009年7月7日
環境情報専門委員会
光安 力

JEITA
ECCENTER

- 目 次 -

1 . JEITA環境辞書

1.1) 環境辞書の概要

1.2) スキーマの概要

2 . JEITA環境辞書とJAMP_AISの関係

1.1) 環境辞書の概要 - 1

ECALGA環境辞書とは？

標準を作成する有力な手法として辞書の活用があげられる。

一般的に辞書とは”ことばや漢字を集め、一定の順序に並べ、その読み方・意味・語源・用例などを解説した書“であると広辞苑に記述されている。

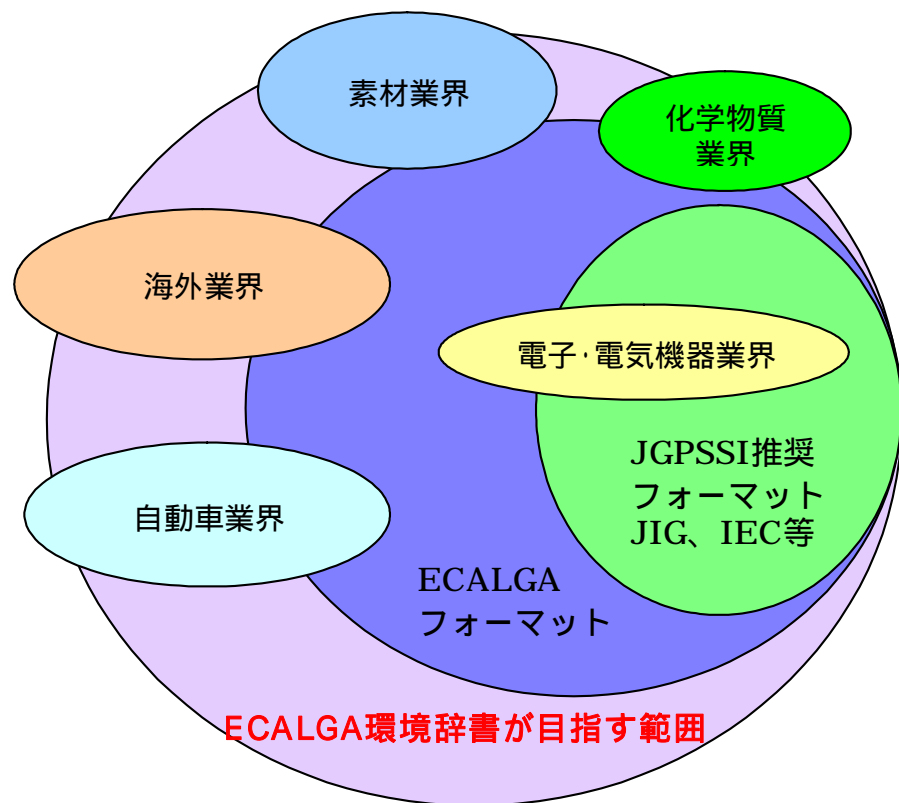
JEITA / ECセンターで扱う辞書も同様な性質を持っているが、コンピュータ可読形式となっているところが特徴的である。

ECALGA環境辞書は活用企業、提供企業双方で使用する用語(語句・単語)とその意味を整理し標準化したものと、企業間でデータを有効にする交換方式の標準化及びその運用を定めたものである。

この辞書を活用することによって環境情報の共有とスムーズなデータ交換の運用を図ることができる。

1.1) 環境辞書の概要 - 2

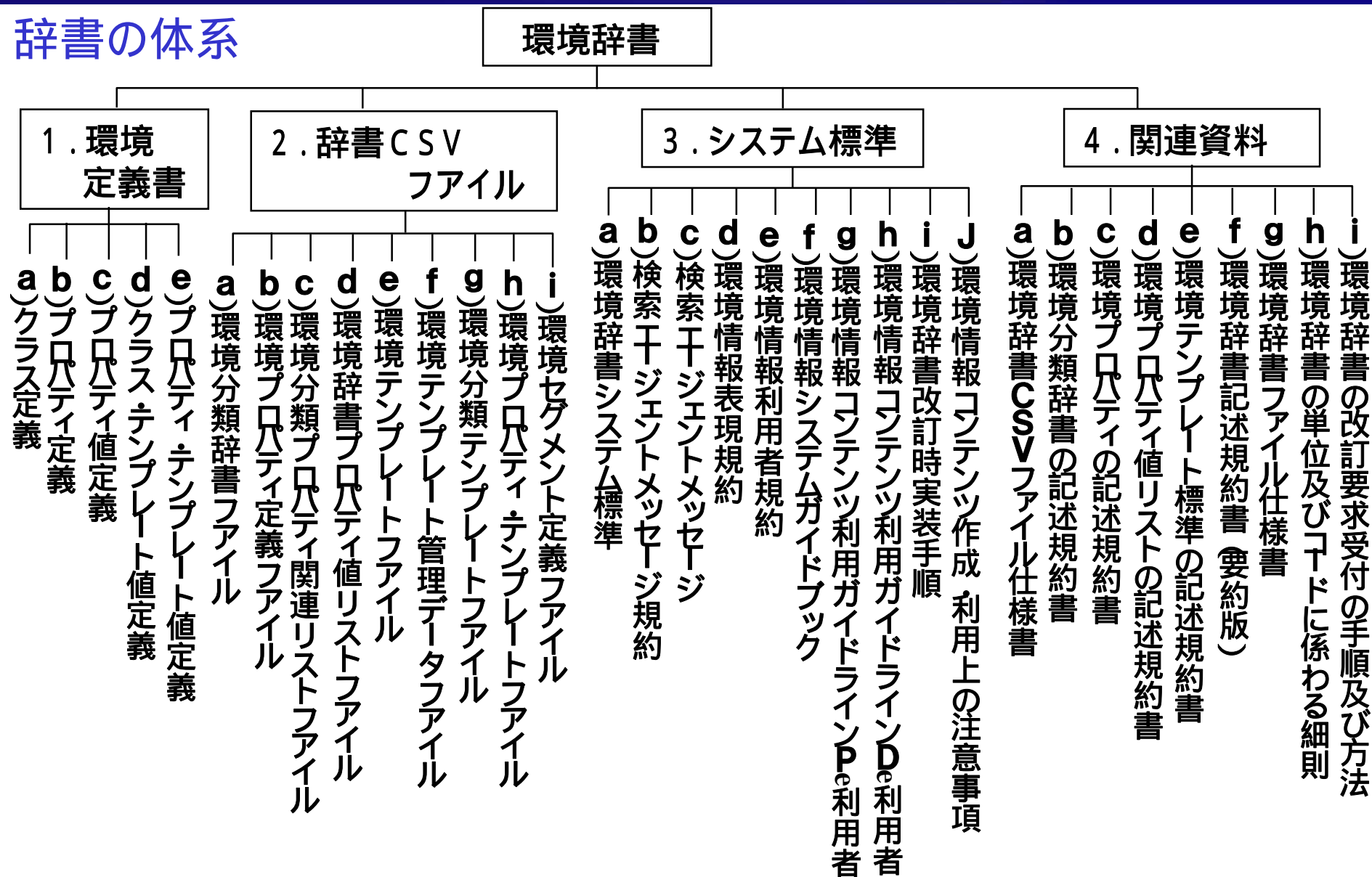
ECALGA環境辞書の範囲と構造



項目	内容
階層構造	1) 製品 中間層 最下層 材質 物質 (適用法律) 2) 製品 企業間情報 3) 製品 構成製品 4) 製品 物質群 使用用途分類(均質材料) (は物質の塊りの大きさを表す)
物質	可能な物質すべてを対象とする (物質群または例示物質)
外部形式	XML (CSV外部ファイル連携)
辞書構造	JEITA / ECセンターで定めるJEITA環境辞書標準に従う
他標準との関係	JAMP / AISを基本に構築 JGPSSIを取り込んだ標準

1.1) 環境辞書の概要 - 3

辞書の体系



1.1) 環境辞書の概要 - 4

1) 環境定義書

環境定義書はクラス定義、プロパティ定義、プロパティ値定義、
クラス・テンプレート値定義、プロパティ・テンプレート定義で構成されている。

1.1) クラス定義とはプロパティの括りと階層構造の入れ子及び繰り返しを
定義したものである。(依頼者・提供者情報、品目情報、構成、物質群、
使用用途分類、物質等)

1.2) プロパティ定義とは、項目の属性(データの種別、用語の説明、等)
を定義したものである。

1.3) プロパティ値定義とは、プロパティ項目に対する値のリストを定義
したものである。

1.4) クラス・テンプレート定義とは、データ種別毎のクラスの出現回数等を
定義したものである。

1.5) プロパティ・テンプレート定義とは、データ種別毎のクラスとの関係、
出現回数、桁数、値の範囲等を定義したものである。

1.1) 環境辞書の概要 - 5

2) 辞書CSVファイル

辞書CSVファイルは定義書からコンピュータ可読形式に変換したものである。コンピュータのデータベースはこのファイルを基に構築する事が可能である。

辞書変更に伴うデータベースの再構築にも使用可能である。

- a) 環境分類辞書mas-clsdic.csv
- b) 環境プロパティ定義mas-prpdic.csv
- c) 環境分類プロパティ関連リストmas-capdic.csv
- d) 環境辞書プロパティ値リストmas-pvldic.csv
- e) 環境テンプレートファイルmas-prptmp.csv
- f) 環境テンプレート管理データファイルmas-edltmp.csv
- g) 環境分類テンプレートファイルmas-clsdic-occurs.csv
- h) 環境プロパティ・テンプレートファイルmas-prptmp-occurs.csv
- i) 環境セグメント定義mas-pvldic.csv

1.1) 環境辞書の概要 - 6

3) システム標準

システム標準は辞書に基づいて実装したデータベースのデータをB to B間で交換する仕組みを標準化したものである。

- a) 環境辞書システム標準MANDSUS11
- b) 検索エージェントメッセージ規約MANDSUS11a
- c) 検索エージェントメッセージDTD規約MANDSUS11b
- d) 環境情報表現規約MANDSUS11c

以下はシステム運用上の規約を制定したものである。

- e) 環境情報利用者規約MANDSUS06
- f) 環境情報システムガイドブックMANDSUS12
- g) 環境情報コンテンツ利用ガイドラインDe利用者MANDSUS14
- h) 環境情報コンテンツ利用ガイドラインPe利用者MANDSUS15
- i) 環境辞書改訂時実装手順MANDSUS16
- j) 環境情報コンテンツ作成・利用上の注意事項MANDSUS17

1.1) 環境辞書の概要 - 7

4) 関連資料

環境辞書を維持管理する為の辞書記述規約、等が整備されている。

- a) 環境辞書CSVファイル仕様書MANDSDS01
- b) 環境分類辞書の記述規約書MANDSDS02
- c) 環境プロパティの記述規約書MANDSDS03
- d) 環境プロパティ値リストの記述規約書MANDSDS04
- e) 環境テンプレート標準の記述規約書MANDSDS05
- f) 環境辞書記述規約書(要約版)MANDSDS06
- g) 環境辞書ファイル仕様書MANDSDS07

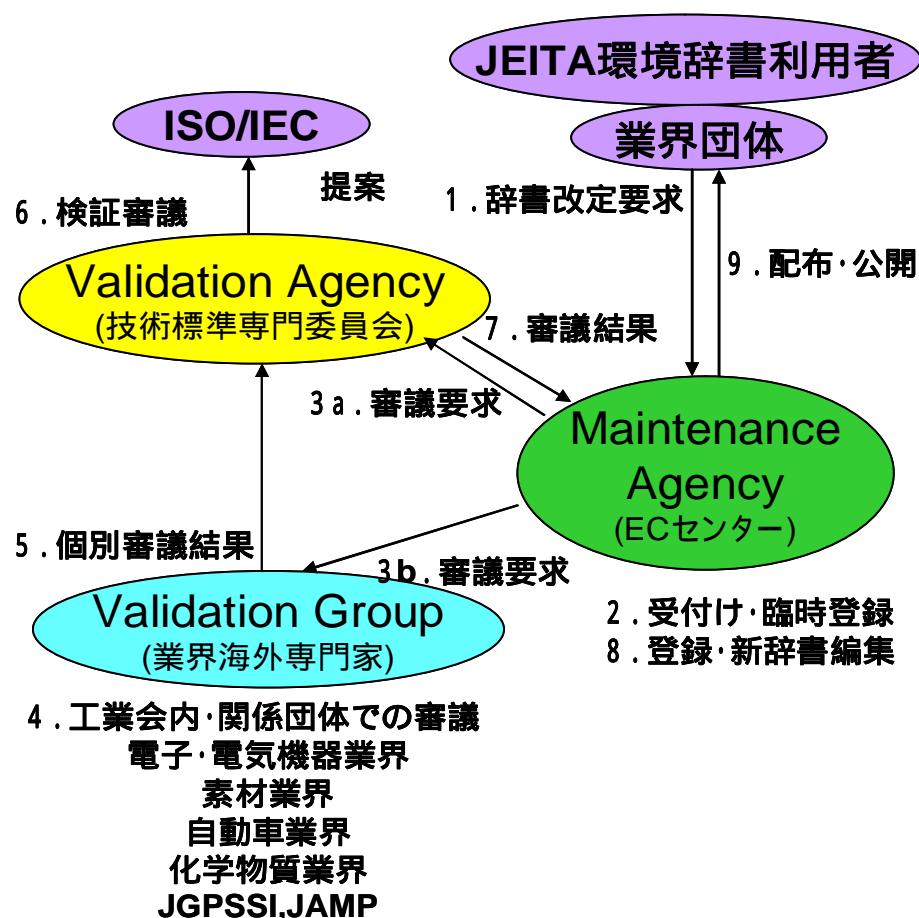
以下はシステム運用上の規約を制定したものである。

- h) 環境辞書の単位及びコードに係わる細則MANDSDS08
- i) 環境辞書の改訂要求受付の手順及び方法MANDSDS12

1.1) 環境辞書の概要 - 8

JEITA/ECセンターにおける標準化組織体制

辞書標準の維持管理体制



最新辞書の確立(JEITA環境辞書)
 JEITA環境辞書利用者からの改定受付け
 業界・グローバルな連携・強調
 ISO・IECとの連携・提案

辞書の役割

- ・環境情報をコンピュータ可読な表現として標準化
- ・部位名、質量などの記述において表現体系を明示し単位、使用文字、検索属性などを決定
- ・環境情報の作成、検索等の利便を図るため、生産BOMを考慮した構造

辞書ファイル

- 環境分類辞書
- 環境プロパティ定義
- 環境分類プロパティ関連リスト
- 環境辞書プロパティ値リスト
- 環境セグメント定義
- 環境テンプレート管理データ
- 環境プロパティテンプレート定義
- 環境分類出現回数ファイル
- 環境プロパティ出現回数ファイル
- BtoB間情報交換AISスキーマファイル
- BtoB間情報交換MSDSPlusスキーマファイル
- 環境物質群分類コード定義ファイル
- 環境例示物質分類コード定義ファイル
- 環境使用用途分類コード定義ファイル
- 環境辞書の総合EXCELファイル

辞書の維持管理

- ・広く普及を図る為、辞書標準はECセンターホームページより配信
- ・改定要求を専門家グループで評価し辞書に反映

- 目次 -

1 . JEITA環境辞書

1.1) 環境辞書の概要

1.2) スキーマの概要

2 . JEITA環境辞書とJAMP_AISの関係

1.2)スキーマの概要 - 1

スキーマとは？

データ交換をXML形式で行う時のデータ構造と出現回数とデータ種別及びデータリスト等を記述したものである。

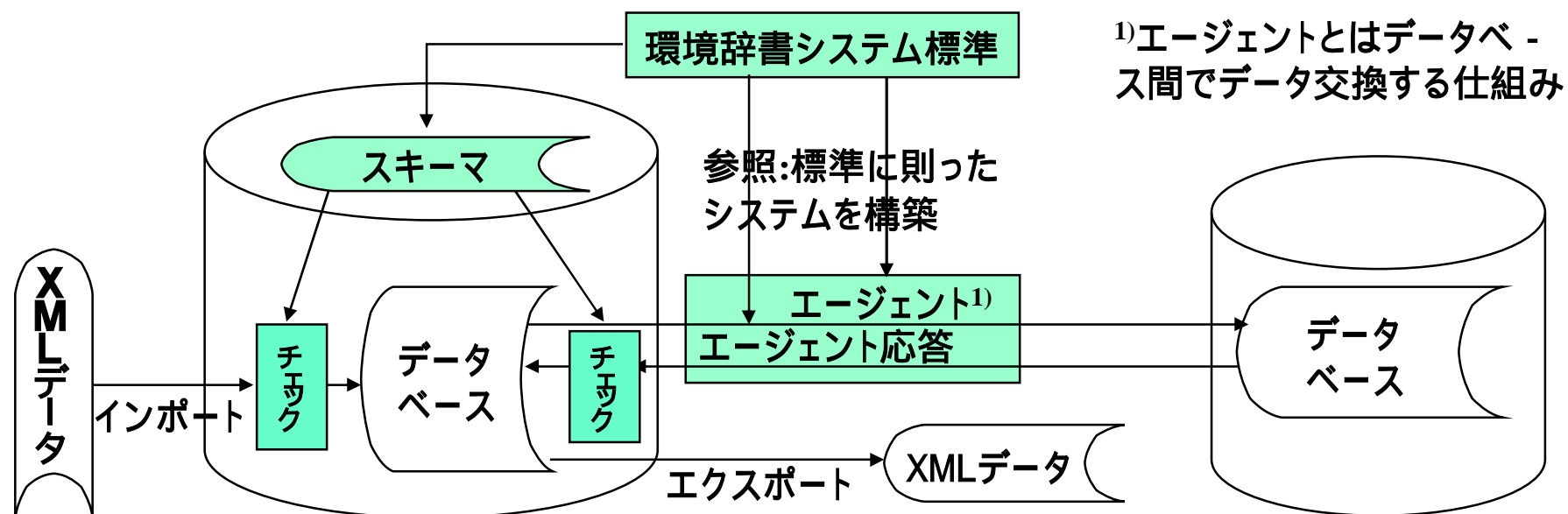
スキーマ自身もXML形式で記述される。

XML形式とは開始タグと終了タグの間にデータを記述するものである。

JEITAで作成するスキーマは環境定義書(クラス定義、プロパティ定義、プロパティ値定義、クラス・テンプレート値定義、プロパティ・テンプレート定義)とシステム標準(環境情報表現規約)を基に作成されている。

1.2)スキーマの概要 - 2

その目的はXMLデータ作成時またはXMLデータ受け取り時にデータの整合チェックを行う為のものである。この事によってデータ交換におけるデータ精度の向上が図られる。



- 目次 -

1 . JEITA環境辞書

1.1) 環境辞書の概要

1.2) スキーマの概要

2 . JEITA環境辞書とJAMP_AISとの関係

2.1) JEITA環境辞書とJAMP_AISとの関係 - 1

JAMP標準AIS作成システム(要求仕様書)

JAMPが提唱する標準AIS作成システム(要求仕様書)はJEITA - AIS作成支援ツールの基本部について規定したものである。

AIS							JEITA環境辞書			
標題										
番号	標題名称または 項目名称	半角 / 全角	文字 種類	字 数 制 限	字数	必 須	クラス コード [KJA***]	プロパティ コード [KJE***]	名称	注記

AIS項目は、AIS作成支援ツールの規定事項で、JEITA環境辞書項目は環境定義書(クラス定義、プロパティ定義、プロパティ値定義)の規定事項である。

スキーマ(XMLデータ)はJEITA環境定義書にしたがって作成される。

AIS作成支援ツールとJEITA辞書の関係は、JAMP標準AIS作成システム(要求仕様書)のクラスコードとプロパティコードで関係付けている。

2.1) JEITA環境辞書とJAMP_AISとの関係 - 2

AISとJEITA環境辞書の相違点

AIS	JEITA環境辞書
表題名称または項目名称はツールの画面に表記される名称	JEITAの名称はXMLデータのプロパティの短縮名
半角/全角は指定あり	半角/全角は区分はない
文字の種類は数、英数、全て	文字の種類はstring, decimal, date

AIS							JEITA環境辞書			
番号	標題名称または項目名称	半角/全角	文字種類	字数制限	字数	必須	クラスコード [KJA****]	プロパティコード [KJE****]	名称	注記
2	発行者会社情報									
	会社名	半全	-	max	200	*	018	012	発行者当事者名	
	JAMP 会社ID	半	-	max	8		018	141	発行者 JAMP 識別	
	会社 ID/登録機関ID	半	-	fix	4		018	138	発番機関識別	
	会社ID/会社ID	半	-	max	13		018	011	発行者当事者識別	

- ご清聴ありがとうございました